

## 平成29年度 美馬市立三島中学校 学校評価総括表

美馬市立三島中学校長 西平 郁夫

(学校教育目標) 第2次美馬市学校教育基本方針に基づき、人権を尊重し、自ら学ぶ意欲と主体的に生きようとする力を育て、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな生徒を育成する。	<b>校訓</b> 強く…強い意志と強健な身体を育む 正しく…正しい人権意識と生き方を培う 美しく…美しく豊かな心と創造性を養う	学級数 5	児童総数 46	教職員数 12	
---	---	----------	------------	------------	--

平成29年度 重点課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちの成長を全ての教育活動の中心において取り組む。</li> <li>・保護者・地域との連携を一層推進する。</li> <li>・教職員の和を大切に、常に資質向上に努める。</li> </ul>	め生徒 ざ徒 す像	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら学ぶ意欲に満ちた生徒</li> <li>・自他の人権を尊重する生徒</li> <li>・思いやりのある心豊かな生徒</li> <li>・心身ともに健康で、たくましく生きる生徒</li> <li>・粘り強く、誠実に努力する生徒</li> </ul>
----------------	--	-----------------	---

重点目標	評価項目	評価指標	具体的な方策・手立て	自己評価	結果の考察及び次年度改善策		
・子どもたちが自立するための実践力を養うため、全職員で創意工夫をする。	・全教職員が積極的に生徒にかかわり、長所を伸ばす声かけや自信もてる指導を行う。 ・自分の生活リズムを自身でチェックすることで生活を見直す習慣を付ける。 ・主体的に学ぶ生徒の育成を図る。	・生徒の良いところ認めることで、自己肯定感、自己有用感を高めさせる。 ・「ふりかえり手帳」を活用し、生徒の生活の見直しにつなげる。 ・生徒が主体的・対話的な学びができるような授業改善をする。	・生徒の成長を全職員が見守り認め、ほめる。 ・宿題の提出等を徹底して習慣付けると共に、昼休みや放課後の補充学習を継続的に進め、「やればできる」という自信につなげる。 ・生徒の生活リズムを全職員がチェックすることで、基本的な生活習慣の見直しの指導や学習指導に生かす。	A	一人一人を大切に、個に応じた指導を心がけた。今後更に、学習へ向かう気持ちを高めるための手立てが必要である。  「ふりかえり手帳」を活用し効果があった。今後は保護者との連携をより一層強化していきたい。 授業改善とともにキャリア教育の視点から中・長期的な目標を具体的に立てさせ、生徒の学びに対する主体性を育む。		
			・小中の授業公開をし、相互理解を図る。 ・学校の活動や取組、生徒の様子を知らせるなど常に連絡を取る。 ・地域連携、人材活用を推進する。	・小中の授業公開を年2回以上は実施する。 ・行事の合同開催を2回実施する。 ・学校の取組を学校日より(毎月)やHP等で知らせると共に、日ごろより生徒の様子をこまめに伝え、協力や理解を得る。 ・地域行事に全職員1回以上は参加する。 ・学校の教育活動に地域人材・企業を活用する。		B	小学校の英語や音楽など、小中合同授業を行うなど、積極的交流をする。 生徒の様子を電話や家庭訪問で、保護者にはできるだけ伝える姿勢で臨んでいる。 HPについては見やすい工夫が必要である。 キャリアの視点で企業訪問等はできたが、昔年の遊びや郷土料理など授業の中で地域の人材を活用したい。
			・校内研修を充実させる。 ・職場の協働・同僚性を高める。	・全職員が研究授業を行い、スキルアップにつなげる。 ・OJTを効果的に機能させ若手教員育成をする。		・それぞれの教職員が行う研究授業のねらいを明確にし、研究会で授業改善の手法を学び合う。 ・隙間の時間を利用した小研修を実施する。  ・ミドルリーダーを中心に企画や運営を任せ、若手教員の育成に努める。	

(評価基準 : A 十分に達成できた B おおむね達成できた C やや目標を下回った D 改善を要する)

### ◆学校関係者評価委員会の評価

生徒一人一人の長所を認め、全職員が熱心に指導してくれていること、様々な体験活動を取り入れてくれていることはありがたい。また、今後の課題としては、アンケートから、挨拶の仕方やスマートフォンの使い方、相談体制の整備などがあがっているので、今後具体的な手立てを考えて取り組んでほしい。

### ◆評価結果と次年度についての校長所見

今年度から採用した「ふりかえり手帳」は、生徒が自分の生活を見直したり、教員が生徒の状況をより詳しく把握する上で役に立った。今後とも一人一人を大切にしながら、きめ細かな指導にあたりたい。残された課題については保護者の協力を得ながら、改善に向けて取り組んでいく。